

埼玉県廃棄物政策～彩の国資源循環工場に関する請願に対する回答

<埼玉県の環境政策について>

1) 埼玉県の産業廃棄物排出量の経過と見通し(過去10年及び今後5年)は?

【回答】

5年毎に行われている「埼玉県産業廃棄物実態調査」によると、平成10年度は、1,180万トン、平成15年度は1,103万トンとなっています。

将来予測については、第6次埼玉県廃棄物処理基本計画によると、平成22年度は、1,089万トンと予測しています。

2) 埼玉県外からの産業廃棄物の流入量と県外への流出量の推移(過去10年の統計)は?

【回答】

平成10年度から調査が実施されている「廃棄物の広域移動対策検討調査」によると、埼玉県外からの産業廃棄物の搬入量と県外への搬出量の推移は次のとおりです。

(単位:千トン)

実績年度	搬入	搬出
平成10年度	3,119	1,210
平成11年度	3,875	1,242
平成12年度	3,486	1,437
平成13年度	4,943	1,503
平成14年度	4,617	1,622
平成15年度	4,222	1,648
平成16年度	4,281	1,599
平成17年度	5,513	1,754

3) 全国及び埼玉県のゴミ埋立て量は過去10年間でどのように推移してきましたか?

それにより、今後の埋立て量はどのようになっていくと予想していますか?

【回答】

環境省が毎年度実施している「一般廃棄物処理事業実態調査」、埼玉県が実施している「一般廃棄物処理事業の概況」から取りまとめたところ次のとおりです。

(単位:万トン)

実績年度	全国	本県
平成8年度	1,309	33.8
平成9年度	1,201	32.6
平成10年度	1,135	33.2
平成11年度	1,087	33.3
平成12年度	1,051	33.9
平成13年度	995	33.4
平成14年度	903	29.0
平成15年度	845	24.6
平成16年度	809	23.1
平成17年度	733	21.8

国では、「一般廃棄物の減量化」に関し、最終処分量については平成9年度1,201万トンに対して、平成22年度までにおおむね半分の640万トンに削減することを目標としています。

県では、減少傾向が続くと見込んでいますが、県外埋立への依存度を下げることが課題となります。